



社会福祉法人

東京弘済園だより

No.14
2023 夏号

理事長就任と退任のごあいさつ



退任のごあいさつ

社会福祉法人 東京弘済園
前理事長 羽井佐 利彦

この度、6月14日をもちまして東京弘済園の理事長職を退任いたしました。

令和元年10月から約3年9ヶ月と短い期間でしたが、医務室長(診療所長)、ケアハウス施設長、また理事長として大過なく務めることができたのは全スタッフと役員をはじめ、ご利用者・ご家族ならびに関係団体皆さまのご協力のおかげと感謝しております。

日本では令和2年1月から新型コロナウイルスによるコロナ禍が始まりました。振り返りますとコロナ抗原定性検査・PCR検査・コロナワクチン(法人内で2,318件接種)とコロナを中心に仕事してきた4年弱だったように思います。5類になるまでの約3年間、法人内の老人ホーム三施設において累計で16名の入居者がコロナに感染しましたが、重症化せず治癒されたことは本当に幸いでした。全スタッフの努力と入居者、ご家族皆さまのご理解、ご協力の賜物であります。多摩府中保健所にも大変お世話になりました。

平成22年に超高齢社会となり今後本格的な多死社会を迎える我が国では、高齢者施設の役割は増々大きくなります。そして、共働きが増えていく状況では保育園もさらに大切な存在になります。当法人が担っている社会福祉という重要な使命を果たすべく、今後ともこれまで同様ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



就任のごあいさつ

社会福祉法人 東京弘済園
理事長 森本 雄司

この度、羽井佐前理事長の退任に伴い、6月14日開催の理事会で東京弘済園理事長に就任いたしました、森本雄司です。

日頃より当法人の運営に際しまして、施設のご利用者様をはじめ、ご家族様、地域の皆様方からの温かいご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

令和3年6月に鉄道弘済会の会長に就任し、同時期に東京弘済園の理事として、これまで2年間法人運営に携わっておりますが、今回理事長という重責を担うことになり、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

当法人を取り巻く環境は決して平坦ではなく、施設設備の劣化対策に加え、人材の確保・育成、感染症対策など、多くの課題を抱えておりますが、皆様のお力添えをいただきながら、一步一步着実に前進できるよう取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご利用者様に満足いただけるきめ細やかなサービス提供に努めるとともに、三鷹地域における高齢者福祉の拠点として、引き続き地域の皆様に信頼される法人となるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目次

P2…特別養護老人ホーム 弘済園
P3…養護老人ホーム 弘寿園
P4…ケアハウス 弘陽園
P5…弘済ケアセンター

P6…三鷹市高齢者センター けやき苑
P7…三鷹市東部地域包括支援センター
三鷹市西部地域包括支援センター
P8…弘済保育所(おひさま保育園)



ホームページ



Instagram